

平成 25 年度 第 2 回沖縄県作業療法士会理事会 議事録

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 25 年 5 月 21 日(火) 19 時 00 分～
3. 理事総数：10 名
4. 出席理事：比嘉靖、安里克也、比嘉一仁、桑江良貴、石川丈、土田真也、田村浩介、下里綱、山城峻、久貝明人
※嘉数栄司(財務部員)、西野陽亮(事業部長)、喜田浩司(訪問リハビリ委員)、大城圭(学会実行委員長)

【審議事項】

1) 比嘉会長

1. 平成 25 年度前期総会について 【承認】

6 月 8 日(土) 19:00～ 沖縄県総合福祉センター 403 研修室

理事・部長・議長は 18:00 集合(403 研修室にて、会場設営・打ち合わせ)

議長団(執行部案)→議長(1 名)：嘉数栄司(沖縄リハビリテーション福祉学院)

議事録署名人(2 名)：吉岡美和(沖縄リハビリテーション福祉学院)、玉木高信(宜野湾記念病院)

書記(2 名)：内間利奈(大浜第二病院)、神山育子(大浜第二病院)

議案→第 1 号議案：平成 24 年度事業報告、第 2 号議案：平成 24 年度決算報告 第 3 号議案：平成 25 年度予算報告

2. 県学会の開催に向けて：趣旨、開催時期、役員体制など

実行委員長：大城圭(沖縄中央病院)、財務は士会財務部が兼任、平成 26 年 2 月頃開催予定

2) 久貝理事(事務局)

1. 「沖縄県障害者介護給付等不服審査会委員」推薦について 【継続審議】

⇒事務局で人選

2. 「障がい者支援の IT 機器体験・活用推進事業」担当者推薦について 【継続審議】

3. 福祉用具相談支援システム運用事業導入及びアドバイザー推薦について 【継続審議】

⇒2・3とも金城知子氏(沖縄リハビリテーション福祉学院)へ比嘉会長から確認

4. 「公益法人制度に関する説明会」参加について 【承認】

⇒平成 25 年 5 月 27 日(月) 安里副会長・土田理事の 2 名が参加予定。

3) 田村理事(広報部)

1. ホームページについて 【承認】

⇒業者より工程表の説明があり承認された。作業療法と作業療法士の説明について作成する。

それぞれのページについては、随時広報部より各部へ依頼する。

2. 広報誌について 【承認】

⇒原稿について最終確認。6 月中旬頃発行予定。

4) 桑江理事 【承認】

1. 新入会員歓迎会について

前年度同様、新入会員オリエンテーション後に同会場で開催(平成 25 年 7 月 13 日)。

歓迎会の際、各研究会に参加してもらい、活動内容等を説明してもらうかは学術部を通して確認。

プログラム等は、決まり次第 FAX 等で広報予定。

5) 石川理事

1. 研究会申請について 【承認】

「教育法研究会」「沖縄作業科学研究会」「沖縄作業行動研究会」の 3 団体を統一した形での申請(「沖縄臨床作業療法実践研究会」)。

研究会募集の期限は過ぎているができる限り支援していきたい(認定での承認)。

6) 上江洲部長

1. 生活行為向上マネジメント講習会開催の内容、期日などについて、希望がないか確認

2. 生活行為向上マネジメント普及活動は保険部として関わってよいのか

⇒比嘉担当理事から上江洲部長へ詳細を確認。必要があれば教育部と調整。

【報告事項】

1) 比嘉会長

1. 会計監査について：5 月 14 日(火) 19 時～ 沖縄リハビリテーション福祉学院

参加者：比嘉会長、宇田監事、小金澤監事、山城財務部長

2. 言語リハビリの集い大会について：ボランティア募集の協力

3. 協会代議員選挙について

4. 県内三団体合同タウンミーティングについて(6 月 20 日)

2)安里副会長

1. 2013年度芸術文化講座開催等事業 第1回運営委員会・実行委員会

2013年度開催日程予定

①街かどコンサート 2013年9月14日(土) 14:00~16:00 場所:パレットくもじ

②第9回こころの芸術・文化フェスティバル 2013年11月21日(木)~24日(日)(20日搬入・準備、25日片付け)
場所:沖縄県立博物館・美術館 1F 県民ギャラリー

③第10回こころのバリアフリー音楽祭 2014年2月19日(水) 嘉手納町

3) 事務局

局長:久貝明人

1. 会員の動向について:次回理事会でまとめて報告。

2. 受理文書について:次回理事会でまとめて報告。

3. 後期総会後の県・法務局への届について:資料準備・作成中。準備出来次第提出。

4) 財務部

部長:山城峻

1. 会費について(4月1日~4月30日)

会費収入63件(県士会指定口座への直接納入:4件、コンビニ納入分:59件)

平成25年度分3~4月中のコンビニ納入は149件(うち90件の県士会口座への振込は5月)

2. 会費納入率(4月末時点)平成24年度:2.0% 平成25年度:10.2%

3. 会計監査:5月14日(火) 参加者 比嘉会長、宇田監事、小金澤監事、山城財務部長

4) 学術部

部長:石川丈

1. 学術誌について:編集作業中。6月中に発送予定。

5) 教育部

部長:土田真也

1. 現職者共通研修:7月21日(日)の予定

会場は沖縄リハビリテーション福祉学院を仮押さえ講師依頼を進めていく段階

2. 事例検討会①:9月8日(日)の予定

3. 事例検討会②:平成26年1月19日(日)の予定

4. 現職者選択研修(身体障害):今年度よりシラバス改訂。講師候補の選定中。10~12月頃の開催になりそう。

5. 認定作業療法士取得研修:12月7日(土)~8日(日)

選択12-身体障害の作業療法 「身体障害領域のマネージメント 病院から在宅につなぐ作業療法の連携技術」
会場選定中。同内容の研修が東京で8月に開催(既に定員越え。締め切り)

→今回は県外からの受講者も多くなる可能性。早めの県内広報予定。

現在、OT協会に基礎講座修了者一覧の開示申請、開示済み。該当者に案内郵送中。

6. 5に関連してOT協会教育部研修運営委員会の会議に出席(5月12日:東京)

講師を勤める宇田さんの代理として出席。

認定作業療法士取得研修の今後の沖縄開催について、なるべく共通・選択を1年おきに開催していく方針が会議の場で示された。

7. 日本作業療法士協会 SIG 登録(報告)

2月理事会の際に採択をいただいていた日本作業療法士協会のSIG登録について、「日本義肢装具士協会」と「沖縄回復期リハビリテーション病棟連絡協議会」について、前者はそのまま登録、後者は全国のものに「都道府県団体含む」との解釈の追加で登録された。後者の解釈を記載しての登録が増えており、当士会で独自解釈していた沖縄活動分析研究会について対応が必要と考えている。

8. 第20回日本義肢装具士協会学術大会(7月13日・14日)の大会長砂田和幸氏(砂田義肢)、運営事務局の株式会社沖縄コングレと7の件にてやりとりを行った。

9. 平成24年度日本作業療法士協会基礎ポイントシール 集計作業中

近日中にOT協会に報告ならびに今年度のシール申請を行う予定。

6) 事業部

部長:西野陽亮

特に無し

7) 広報部

部長:久田直希

特に無し

8) 福利部

部長:桑江良貴

特に無し

9) 渉外部

部長:安里克也

特に無し

10) 保険部

部長：上江洲聖

協会が厚生労働省に交渉して、次改正に介護保険制度へのOTの役割拡大を目指しているそうです。
週末に協会保険部の上城先生の元へ参りますので、詳細な情報を確認できたら報告いたします。

11) その他

1. パイロット事業

土田理事

- ・企画会議開催：4月18日・23日
地域別の会議が必要と判断。地域別のリーダーを選定していくことになる。 次回企画会議は6月の予定
- ・リーダー会議を5月に開催したい
- ・全施設宛に会員個人ごとのアンケートを実施
- ・全体研修開催予定：6月13日（木）、沖縄県総合福祉センター

2. 訪問リハビリリーダー会議

喜田訪問リハビリ委員

⇒開催日：平成25年5月16日（木）・17日（金）
開催場所：東京都港区台場 タイム2 4ビル5階
〈実務者研修の内容として〉

- ①訪問リハ未経験者向けの基本的内容と実務者向けのステップアップした内容を盛り込む
- ②フィジカルアセスメントと他職種連携を要件とする
- ①②について全国で取組むことで一定レベルでの実務者の育成を行い、訪問リハサービスの質を担保する。

また、訪問リハステーション管理者要件として

- a) 実務者研修の受講修了
- b) 管理者養成研修STEP①～③の受講修了
a) b) の受講修了を管理者要件取得の条件とし、(更新制)
- c) 管理者研修

においてフォローアップを図るなど研修体制を確立することで、法制度化に向けた地盤作りとすることが決まっている。(リハビリ3協会の会長レベルで承認済みの内容)

※実務者研修は県3士会が主導で行い管理者研修については全国3協会が主導で行う。

山城理事より

「今年度も各士会から予算を集めて開催する形か？」 → 前年度と同じように運営したいと報告。承認済み

桑江理事より

「今回の会議内容のアナウンスはどのように行うのか？」 → 実務者研修修了が今後訪問リハステーション後の管理者要件取得の第一条件になる可能性があることを、本年度の実務者研修参加申し込み案内の時点から広報する。また実務者研修内においてもあくまで予定、調整中と前置きをした上でアナウンスすることとする。